

令和 3 年度 循環器病対策実態調査 について

1

調査概要①

1 実施目的

千葉県循環器病対策推進計画の策定に向け、循環器病患者に対して県内医療機関が提供している医療機能、診療科や専門医の地域分布、救急搬送や高度な技術設備を要する疾患への対応など、循環器病に対する県内の診療体制を把握するため、既存の各調査の分析及び実態調査を実施する。その際、健診による罹患の予防体制、救急から回復期を経て退院に至るまでの医療機関同士の連携等、循環器病の予防・治療・支援に係る体制の現状を包括的に捉え、把握する。

2 調査方法

プロポーザル方式で公募した民間事業者に委託して実施する。

2

調査概要②

3 調査の方針

(1) 医療機関による患者受入れの実態調査

想定調査対象：令和2年度病床機能報告において脳卒中、心血管疾患治療を実施している病院

想定調査方法：郵送等によるアンケート調査

(※調査項目例)

○ 各病院で提供している治療内容及び手術件数等

①脳卒中関係：・t-PA実施数（超急性期脳卒中加算）

・脳卒中患者救急受入数

・血栓回収療法実施数（脳血管内手術）

・SCU病床数（脳卒中ケアユニット入院医療管理料）

・施設認定状況（PSCコア施設）

・回復期リハビリテーション実施数...等

②心疾患関係：・PCI実施数

・心不全患者救急受入数

・心臓リハビリテーション実施数

・心不全を発症した患者の内、心臓リハビリテーションの
施割合及び発症後1年間以上継続している割合。

・再入院率（こういった数が望ましいか要検討）

3

調査概要③

(2) 県民の意識調査について

想定調査対象：一般県民1,000人程度

想定調査方法：webアンケート等

※調査項目例

○ 脳卒中7項目の普及状況

○ 急性の心血管疾患発症時の対応に関する普及状況等

(3) 救急搬送における実態把握

想定調査方法：救急搬送調査等の既存調査結果の詳細分析

※調査項目例

○ 脳卒中及び心血管疾患を理由とした救急搬送数

○ 傷病程度（中等症以下、重症、死亡事例）別の搬送時間及び圏域
外搬送割合

○ 重傷者の搬送先及び受入数。

○ ドクターヘリ要請の有無について

○ 搬送先の決定方法について等

※分析結果を踏まえ必要があれば消防本部へのヒアリングや
アンケート調査等の実施を検討します。

4